



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和4年10月19日

環境大臣 西村 明宏 殿

株式会社ビックカメラ
代表取締役社長 秋保 徹

ビックカメラは、小売業を通じて、お客様のより豊かな生活を提案する企業としての社会的責任を認識し、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じて社会に貢献するため、以下の取り組みを進めてまいります。

1. サーキュラー・エコノミー(循環型社会)の実現に貢献します。

- 小型家電リサイクルの宅配回収、戻り便回収及び下取品回収により金属・プラスチックの再資源化を図りリサイクル事業を強力に推進してまいります。
- 小型充電式電池リサイクルの回収促進に積極的に取り組みます。
- グループ会社のネットワークを最大限活用し、リユース事業を積極的に推進します。
- 本社事務所内、店舗、センター等で発生する廃棄物の抑制、適正な分別処理に取り組みます。

2. 脱炭素社会実現のため、再生可能エネルギー事業を推進します。

- 当社サステナビリティ推進の取組みとして、再生可能エネルギーの活用及び温室効果ガス(GHG)排出量削減を目的に、メガソーラー発電所やオンサイトPPA等の導入利用の取組みを推進します。
- お客様の省エネ促進に寄与する再生エネルギーの利用プラン等の提案サービスを実現させます。
- TCFD提言への賛同を表明し、気候関連のリスク及び機会に関する「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」についての取組みを情報開示します。

3. 省エネ家電製品・サービスの普及促進を強力に推進します。

- 販売する製品、サービスの種類毎に、メーカーと協力して環境配慮型の製品、サービスを開発し提供します。
- 省エネ製品により、どのくらい温室効果ガス(GHG)排出量削減につながるか見える化、定量化しお客様へのメリットを示すことで、省エネ製品の普及促進につとめます。
- CO2の見える化(カーボンフットプリント)を推進し、省エネ製品の販売構成を大半にします。
- エコキュート、二重窓、太陽光発電、蓄電装置等を提案し、省エネ型住宅設備の普及促進に取り組みます。
- サプライチェーン全体での温室効果ガス(GHG)排出量(Scope3を含む)について把握、管理について情報開示します。

4. 低炭素・脱炭素社会における新たな市場を創出するソリューション企業を目指します。

- IoT、スマートメーター、HEMS、蓄電池等の最新テクノロジーを活用したお客様の快適なライフスタイルを提案、普及促進に取り組みます。
- お客様への省エネの啓発や行動変容を促すエコツアーなどの環境教育、店内ポスターの掲示等の施策を推進します。
- 社内で従業員向けの環境教育に積極的に取り組みます。

5. 持続可能な経営を実現するために、事業活動の温室効果ガス(GHG)排出量を削減します。

- CO2削減のために店舗、事務所等の空調設備、照明器具の高効率化による環境負荷低減を目指します。
- 2030年度までに、当社の事業活動から排出される温室効果ガス(GHG)の排出量を2013年度比で47%削減します。
- 2050年度までに、当社の事業活動から排出される温室効果ガス(GHG)の排出量をカーボンニュートラルとする目標に取り組みます。

ビックカメラは、上記取組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及び当社ホームページのサステナビリティサイト、統合報告書において情報開示を行ってまいります。